

第2章

計画の基本理念と基本目標

第2章では、本計画でめざす地域福祉の基本理念と、その実現に向けた基本目標を示しています。

また計画の着実な推進に向けた計画の推進体制について示しています。

本計画でめざす地域福祉の姿やそのために掲げる目標について共有を図りましょう。



第2章 計画の基本理念と基本目標

1 計画の基本理念

第2次岡崎市地域福祉計画では、生活課題の解決に向けて、住民一人ひとりの意識を一つにして、あたたかい思いやりのところを持って支えあうこと、ほっとでき安心して暮らせること、地域の協働を育み、こころ豊かに生き生きと暮らすことのできるまちづくりをめざし、「みんなで築く ホツとなまち 生き生きと暮らせる 支えあいのまち」を基本理念に掲げました。

第3次岡崎市地域福祉計画においても、この基本理念を引き続き掲げ、基本理念の実現に向けて施策の推進を図ります。

■基本理念

みんなで築く ホツとなまち
生き生きと暮らせる 支えあいのまち

2 基本目標

基本目標1 思いやりや支えあいの心を育て、地域の交流を進めましょう

地域福祉についての周知、啓発により地域福祉活動へのきっかけづくりを行い、身近な手助けを必要とする人の声に気付くことができるような思いやりの心を育てていきます。また、地域での交流を深めたり、居場所づくりを行い、地域のつながりの強化を図ります。

基本目標2 安全で安心して暮らせる地域をつくりましょう

生活困窮や子どもの貧困などの新たな生活課題に対応した支援体制を整備するなど適正なサービス確保をめざすとともに、地域・市・社協の連携を始め、専門機関との連携体制の強化も図り、多様なニーズに応じた仕組みづくりに取り組みます。

また、各種団体との連携によりバリアフリー化の推進を図るとともに、災害時の対応など地域の力なくしては解決できない課題に向けて、地域の連携体制の強化を図ります。

基本目標3 こころ豊かに暮らす地域社会をめざしましょう

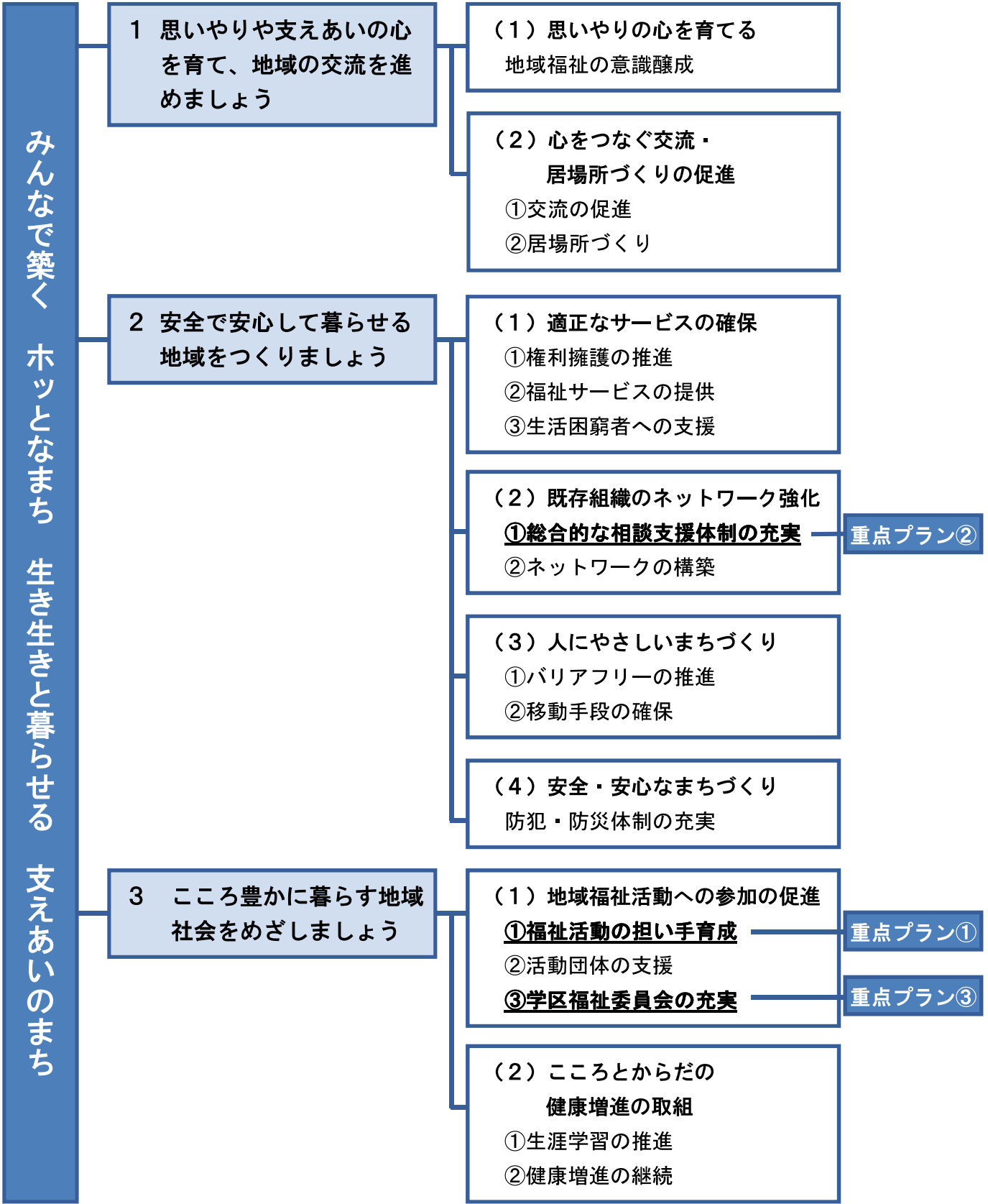
地域での活動を維持するため、また活動を次の世代に引き継いでいくため、福祉活動の担い手づくりや活動団体の体制強化の推進を図るとともに、高齢者も担い手として活躍してもらえるように、生涯学習や健康増進の取組を推進し、高齢者の活力の維持・向上を図ります。

3 施策体系

【基本理念】

【基本目標】

【推進施策】



第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

資料編

4 計画の推進体制

(1) 推進体制の整備

計画の着実かつ効果的な推進を図るため、庁内の関係各課及び社協の連携を強化するとともに、関連する個別計画の進捗状況を確認し、整合性を図りながら毎年度の進捗管理を行います。

(2) 市民、地域との連携

本計画を推進していくためには、市民や地域との連携を図っていくことが必要です。そのためには本計画の理念や方向性等について共有する必要があることから、本計画について広く市民に周知します。

特に、本市においては地域での福祉活動を推進する核となる学区福祉委員会が組織されており、行政や社協と連携しながら計画の推進を図ります。

(3) 計画の進行管理・評価

本計画に基づく地域福祉の取組を推進していくために、各取組の進捗状況を把握し、施策の実施状況を評価します。

また、住民主体の地域福祉活動が実現できるよう、住民の代表や関係機関・団体の代表者からなる「岡崎市地域福祉計画推進委員会」において、計画の進行管理や評価、見直しを行い、地域福祉の推進につながるよう努めます。

■計画の進行管理・評価のイメージ

